

Elazzio

SEAT COVER



DAIHATSU TANTO SLOPER

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

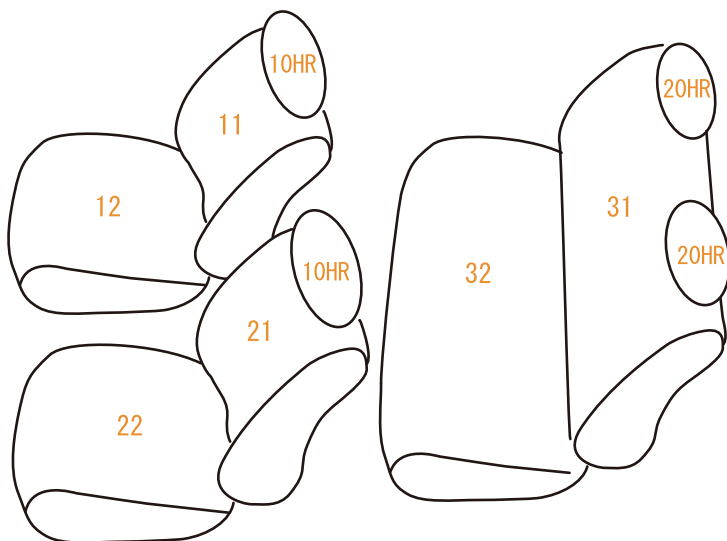
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 03-04
1 列目運転席座面の装着方法	…> 05-09
1 列目運転席背もたれの装着方法	…> 10-11
1 列目助手席座面の装着方法	…> 12-15
1 列目助手席背もたれの装着方法	…> 16-23
2 列目座面の装着方法	…> 24-25
2 列目背もたれの装着方法	…> 26
ヘッドレストの装着方法	…> 27-28
完成図	…> 29
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 30-31

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (ソケット : 10mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法

※シートカバーの装着にはシート裏側での作業があります。シート裏側には鋭利な金属もありますので怪我をされないように作業を行って下さい。



- 1 シートカバーを装着する前にシートリフターの動作を確認して下さい。シートリフターのレバーを動かすとレバー内側のプラスチックパーツと擦れる場合があります。擦れないように意識してレバーを動かすと、プラスチックパーツに当たることはありませんが、こちらはシートカバーを装着する前から起こり得る現象で特にシートを下げようとする際に起こります。シートカバーを装着したことが起因となり起こり得る現象ではないことを、予め確認して下さい。



- 2 カバーを装着する前にシートを一番高い位置へ調整しておきます。



- 3 シート背面下の図の点線で囲んでいる生地の固定を外します。



- 4 シートの前側からシート裏を写した図です。シート裏の金属部分に黒色と白色のゴムが引っ掛けられています。このゴムの固定を全て外します。
※ゴムの色は仕様変更などで変わる場合があります。



- 5 車の年式によってはプラスチックのフックで生地が固定されている場合もあるので、これも外します。各種配線が生地に固定されているため、外側へ引き出さないようにして下さい。



- 6 シートの背面から3番の生地を引くと図のように生地が出てきます。黒いゴムが付いている生地はシートの背面側から出てきますが、白いゴムで固定されている生地は一定の隙間ができる程度で止まります。こちらは配線によりこれ以上は引き出せないようになっているので、無理に引っ張らないように注意して下さい。
※ゴムの色は仕様変更などで変わる場合があります。



7 シートリフターのレバーを外します。レバーの軸部分にあるキャップをヘラなどを使用して外します。



10 シート内側のシートの軸になる部分の下側にあるネジを、プラスドライバーを使用して外します。



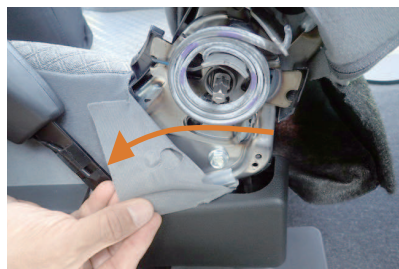
8 キャップを外すと中にネジが1本あります。プラスドライバーでネジを外し、レバーを手前に引き抜きます。



11 ネジが留まっていたプラスチックパーツを外します。図のシートの表面側から見た位置にプラスチックパーツのツメがあります。ツメの位置を意識して上へめくり上げるようにして外していきます。



9 リクライニングレバーの軸の下側にあるネジを、プラスドライバーを使用して外します。



12 プラスチックパーツ内側の純正のシート表皮を、図のようにめくります。この状態でシートカバーの装着を行います。



- 13** シートカバーをシートのラインに合わせて前側からかぶせます。シートの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



- 16** 背もたれと座面の隙間に生地と生地についているベルトを入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 14** カバー外側に付いているマジックテープのベルトとカバーの端を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



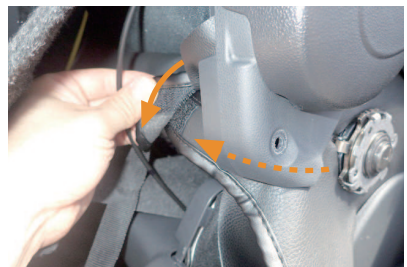
- 17** 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。こちらは5ページ6番の生地が完全にめくり上がらないため作業が行いにくくなっています。生地を左右から少しずつ均等に引き出すようにして下さい。



加工穴とネジ穴の位置を合わせる

加工穴とダイヤルの位置を合わせる

- 15** 6ページ9番でネジを外したプラスチックパーツの内側に、図のように生地を通します。通した生地の加工穴とネジ穴の位置が合うようにして下さい。シートカバーの加工穴の位置と、シートリフターのダイヤルの位置を合わせます。

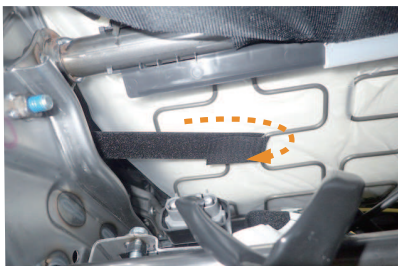


- 18** 引き出した生地の端と、7ページ15番でプラスチックパーツの内側を通した生地の端を、マジックテープで固定します。



シート裏側からシートの外側を写した図

- 19 7ページ14番で入れ込んだマジックテープのベルトを、シート裏の隙間から引き出します。



- 20 マジックテープのベルトはシート裏側の金属部分に巻き付けて固定します。



- 21 リクライニングレバー下の図の位置に、端に固定部材の付いた生地をヘラなどに入れ込みます。ここの隙間は固定部材が完全に入り込むほど奥行きがありません。固定部材が途中で引っ掛かる程度に入れ込んで下さい。



- 22 21番で入れ込んだ生地は、シートカバーを装着後シートを下げると、図のようにシワになることがあります。こちらは生地を吸収するだけの隙間が無いため、予めご了承下さい。



- 23 シートの内側です。カバー側面の固定部材の付いた生地を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 24 カバー内側の生地をシートの後ろ側へ引き出して、7ページ17番で引き出した生地とマジックテープで固定します。この際、ネジ穴部分とプラスチックパーツを固定する突起部分の位置へシートカバーの加工穴を合わせるようにします。



- 25 7ページ17番で引き出した生地の端に付いているベルトを、シートの裏から前側へ入れ込みます。



- 26 シートの後ろ側から入れ込んだベルトを引き出して、カバーの前側に付いているバックルに通します。



- 27 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意して下さい。



- 28 6ページ9番と11番で外したプラスチックカバーに生地を挟み込み元通りに固定します。シートリフターのレバーも元通りに取り付けます。カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。

Step2

…> 1列目運転席背もたれの装着方法



- 1 カバー側面のファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込む生地にはフックが付いています。フックで座面カバーを傷つけないように、注意して下さい。



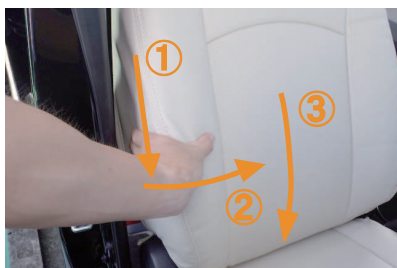
- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。
※シートの背面にはサイドエアバッグの配線などがあるので、配線などに注意して作業を行って下さい。



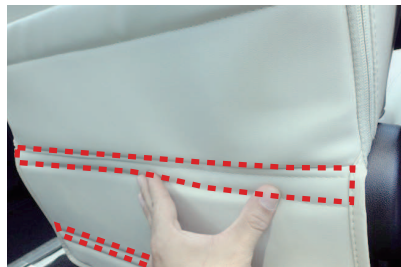
- 3 生地の伸びを利用して台座を取り出します。
※革を使用したカバーでは、革は伸びないため加工穴が裂けてくる場合があります。生地が裂けてきても慎重に作業を行っていただければ台座の幅以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。



- 6 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を5番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



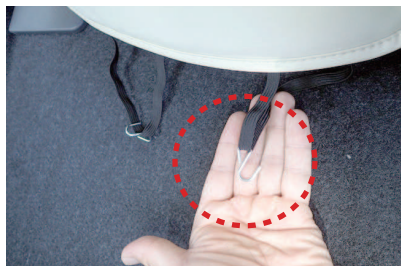
7 カバーの両側面に付いているファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



10 5ページ4番で外した生地を元通りに固定します。固定した生地に、カバー裏側に付いている2本のマジックテープを、直接貼り付けて固定します。



8 シート背面の5ページ4番で固定を外した生地を少々強引にめくり上げた図です。図の矢印の辺りに純正シート地を固定しているフックがあります。



11 カバーの背面下にゴムが2本付いています。ゴムに付属の金属フックを付け、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



9 10ページ5番で引き出した生地に付いているフックを、8番の純正シート地を固定しているフックの上から引っ掛けて固定します。フックは全部で3か所あります。



12 カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。

Step 3

…> 1列目助手席座面の装着方法



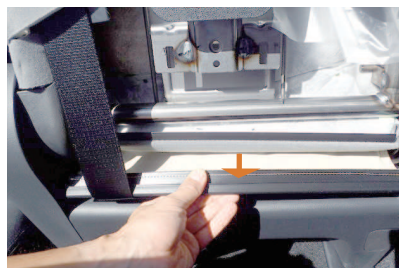
- 1 シート背面から出ているシートベルトの内側に、シート表皮を固定している生地を引っ張るつまみのような生地があります。その生地を掴み引っ張ります。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 1番の生地を引っ張ると図のようにシート表皮を固定していたフックが外れます。この状態からカバーの装着を行っていきます。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 3 カバーをシートのラインに合わせて前側から後ろ側へ向けてかぶせます。シートの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



- 6 2番で固定を外したフックを折り畳み、引っ掛けていたプラスチックパーツの内側へと入れ込みます。



7 12ページ5番で引き出した生地についているフックを折り返して、2番で外したフックの位置にはめ込み固定します。
 ※純正シート地を固定していたフックよりカバーのフックの方が大きいので、完全にはフックがはまりません。



8 フックを固定すると図のようになります。シートベルトの出口に生地が干渉していないか確認して下さい。



9 カバー外側の固定部材の付いた生地を、生地と一緒にプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。



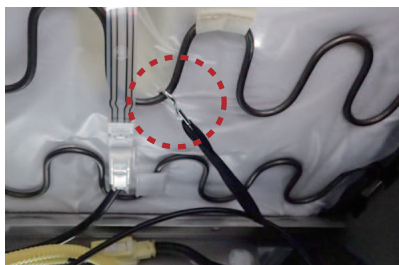
10 カバー外側の後ろ側も、固定部材の付いた生地を、生地と一緒にプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。



11 カバー外側の軸部分にはゴムが付いています。ゴムをシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



12 入れ込んだゴムをシートの裏側から引き出します。



- 13 引き出したゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 16 フックを下向きにしたまま、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。入れ込んだ先にシートのフチがあります。フックをシートのフチに引っ掛けて固定します。前後2か所共同様に固定します。



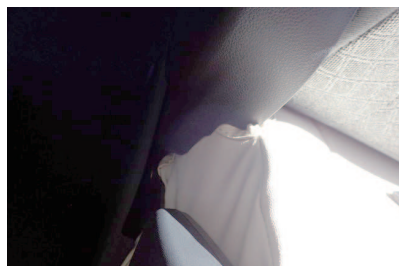
- 14 カバーの内側には図のフックが前後に2か所付いています。



- 17 シート内側の付け根部分です。この位置のカバーに固定部材が付いています。固定部材を生地と一緒に図の点線部分のプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。こちらの隙間は大変狭くなっているので生地が裂けたりしないように、作業は慎重に行ってください。



- 15 フックを図のように下向きにします。



- 18 シート内側の付け根部分は図のようになります。



19 カバーの前側にはマジックテープのベルトが2本付いています。



22 カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。



20 マジックテープのベルトはシート裏の金属部分に巻き付けて固定します。



21 カバー前側のシート裏は図のようになります。

Step4

…→ 1列目助手席背もたれの装着方法



- 1 シート背面のバックボードからコンビニフックを外します。コンビニフックのキャップを図のように開けます。こちらは指で掴み、軽く引っ張ると開きます。
※折畳式シートバックテーブル装備車は4番から作業して下さい。



- 2 開いたキャップの内側にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。



- 3 コンビニフックは図のように外れます。
※4番～6番は折畳式シートバックテーブル装備車の説明になります。次の作業は17ページ7番から行って下さい。



- 4 折畳式シートバックテーブル装備車はテーブルをシートから外します。図はテーブルを起こして裏側を写した図です。テーブルの裏側に4本のボルトがあります。ボルトはソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。



- 5 4番で外したボルトの両端の横に、図のクリップでテーブルを固定している部分があります。こちらはへらなどを使用して上からクリップ部分を押し、テーブルを手前に引くと固定が外れます。作業は片側ずつ行って下さい。



- 6 シートからテーブルが外れました。外したテーブルはそのままの状態、作業の邪魔にならない場所へ運び出して下さい。



- 7 コンビニフックが付いていた部分の図の枠を外しておきます。こちらは指で軽く引くと外れます。枠を外すとバックボードを固定している上側のツメの位置が見えてきます。



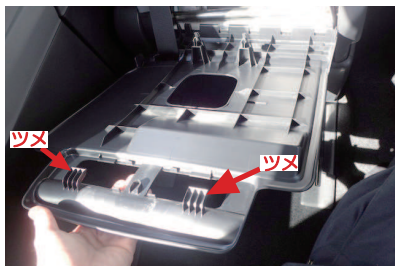
- 8 シート背面のバックボードをシートから外します。まずスライドレバーの下に付いているフックを、フック付近のボードの端を手で掴み手前に引きます。図では片手になっていますが、両手で同時に手前に引くようにして下さい。フックの固定は余り固くは無いので、慎重に作業を行って下さい。外した後のフックの形状は12番で確認できます。



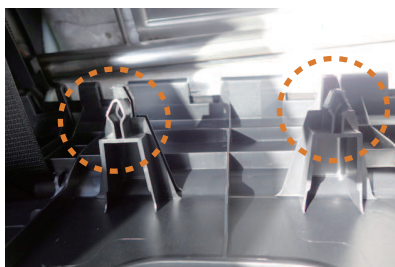
- 9 フックの固定が外れると、スライドレバー周りの隙間からフックが見えます。



- 10 バックボードをシートに沿わせて真上に持ち上げながら手前に引くと上部のツメが外れます。ツメの位置は7番を確認して下さい。※図では片手になっていますが、両手でボードの両端を持って作業を行って下さい。



- 11 上側のツメが外れると、バックボードの上側と側面がシートから外れた状態になります。



- 12 8番で外したフック部分です。



- 13** バックボード下側のシート表皮の固定を外します。
シート表皮を固定しているツメが挟まっている箇所の部分をヘラなどを差し込み、開きます。



- 14** 13番の部分を隙間を広げながら生地を引くと、図のように固定部材が外れていきます。



- 15** 14番のように固定部材の一番端が外れると、外れた生地を引っ張ることで徐々に固定部材は外れていきますが、なるべく**13番**で広げた部分を図の番号順に徐々にずらしながら広げて、固定部材を外すようにして下さい。生地を無理に引っ張ると純正シート地が裂けたり、固定部材の縫製糸が切れる恐れがありますので、注意して下さい。



- 16** シートベルトをボードの隙間を通して外します。



- 17** シートからバックボードが外れました。バックボードは車内に置いておくと作業の邪魔になり、破損させる恐れもあるので、車外へ運び出しておくようにして下さい。



- 18** カバーを装着していきます。カバー背面のファスナーを完全に開いて、シート肩口のシートベルト周りを包むようにしてかぶせます。



- 19 カバーをゆったりかぶせた状態で、カバー背面のファスナーを半分程閉じます。
 ※カバーをしっかりかぶせた後では、ファスナーを閉じることが困難になります。またファスナーを完全に閉じてしまっても、この後のシートベルトの台座を取り出す作業が大変になります。



- 20 ファスナーを半分程度閉じた状態で、シートベルトが出ている台座部分をカバーから取り出します。
 まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 21 次に反対側の台座のフチにも生地を入れ込み台座を全て取り出します。



- 22 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。
 ヘッドレストの台座もこの時点で取り出して下さい。



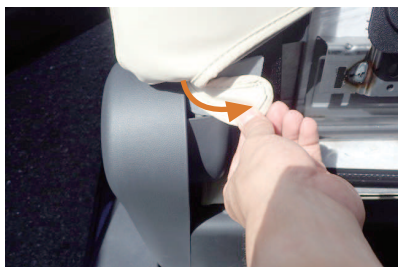
- 23 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 24 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 25 半分程閉じていたファスナーを全て閉じます。閉じたファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 28 カバー外側の背面下です。こちらは先端に何も固定部材の付いていない生地になりますが、シートの背面側に引っ張り出します。生地はこの後シートに戻すプラスチックボードで挟み込み、固定するようになります。



- 26 カバー側面の生地をシートに馴染ませながら、シート背面で純正シート地を固定しているフックの上から、カバーのフックを引っ掛けて固定します。



- 29 プラスチックボードを元に戻す準備をします。



- 27 反対側の側面も同様です。純正シート地を固定しているフックの上から、カバーのフックを引っ掛けて固定します。



- 30 19ページ24番で引き出した生地を改めてしっかりと引き出して、端に付いているフックの先端を手前に向けます。



- 31 シートベルトをボードの隙間に通します。



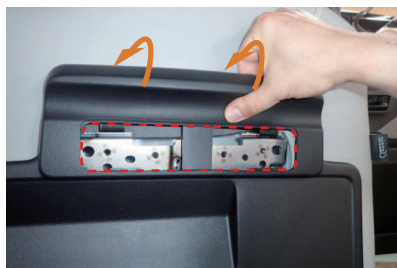
- 32 18ページ13番から外していった純正フックと同じようにカバーのフックを固定していきます。
ヘラなどで広げた隙間に20ページ30番のカバーのフックを差し込みます。フックの先端が出てくるまでしっかりと差し込んで下さい。



- 33 全てのフックを差し込みプラスチックボードの表側から確認します。



- 34 プラスチックボード上側のツメを固定します。
この際、18ページ13番から外した純正シート表皮を、シートクッションごと図のように純正シート表皮のフックを固定していた部分より内側に巻き込みます。
※純正シート表皮とシートクッションを内側に巻き込んでいないと、プラスチックボードがシートから浮きやすくなります。



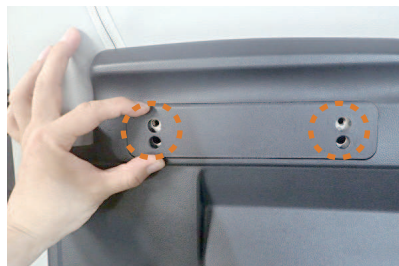
- 35 上側のツメの固定は図の点線部分の枠からツメの位置を確認しながら作業を行って下さい。



- 36 17ページ8番で外したスライドレバー下側のフックを固定します。スライドレバーの下の間隙から、フックの位置が合っているか確認します。



- 37** フックの位置を意識してボードを押し込み固定します。
 ※こちらのフックはあまり強固な固定ではないため、シートを可動させているとフックが外れてくる場合があります。その場合は改めてボードを押し込み固定し直して下さい。



- 38** プラスチックパーツを元に戻します。ボルトの穴位置がしっかりプラスチックパーツの中心に来ているか確認して下さい。
 ※少しでも中心からずれている場合は、この後コンビニフックを戻す際にプラスチックパーツが浮いてくる場合があるので、注意して下さい。



- 39** コンビニフックを元通りに固定します。
 ※こちらはボルトを締めすぎるとプラスチックパーツが破損する恐れがありますので注意して下さい。



- 40** シートバックテーブル装備車はテーブルを元通りに固定します。



- 41** カバーのラインを整えて、1列目助手席背もたれの完成です。



ここからはシートカバーを装着したことでシートベルトの巻き取りが鈍くなった場合の確認方法を説明します。またシートベルトの台座周りの生地がきれいに収まらない場合などにも役立つ作業となります。

- 42番**の確認でシートベルトの作動に問題が無ければ43番から48番の作業を行う必要はありません。
 ※図は別グレードのものを使用しています。



- 42** シートカバー装着後、図のようにシートベルトを引っ張り、手を放して問題なくシートベルトが巻き取られるか確認して下さい。シートベルトの巻き取りが明らかに鈍いと感じた場合は、23ページ**43番**からの内容を確認して下さい。



この部分が干渉して
いないか確認する

- 43 始めにシート背面のシートベルトが出て
いる部分を確認します。
カバーのフックが純正シート地のフックよ
り大きいので、生地とシートベルトが干渉
する場合があります。しっかり固定してい
れば干渉しない程度の間隔ができるので、
こちらで干渉している場合は、13ページ
7番のカバーの固定をやり直して下さい。



- 44 43番の確認でも解消されない場合はシ
ートベルトの台座部分を外して確認します。
まずシートベルトの裏側にあるネジを、ド
ライバーを使用して外します。



- 45 次にボルトを隠している目隠しのブラキャ
ップをへらなどを使用して外します。こ
ちらは前と内側に2か所あります。



- 46 2か所ある目隠しのブラキャップを外すと
中にそれぞれボルトがあります。ボルトを
ソケットレンチなどを使用して外します。
ソケットは10mmを使用します。



- 47 2か所ともボルトを外すと、まずシートを
可動させる際に掴むアーム部分が図のよ
うに外れます。



- 48 台座を持ち上げると完全にシートベルトの
台座部分が外れて、台座の内側が確認でき
ます。
この内側で入れ込んだ生地などがシートベ
ルトに直接干渉したり、生地が内部の部品
を押し付けて、間接的にシートベルトを抑
えたりしていると、シートベルトの巻き取
りに影響します。台座の内側に生地を入
れ込む以上、ある程度は干渉しますが、明
らかにシートベルトの巻き取りに影響が出
ている場合は、カバーの装着をやり直し下
さい。

※カバーの装着をやり直しても改善されな
ない場合は、直ちにカバーの使用を止めて、
弊社へご連絡下さい。

Step 5

…> 2列目座面の装着方法



- 1 背もたれ中央にゴムで固定されているシートベルトのバックルを抜き取り、背もたれと座面の隙間から後ろ側に逃がしておきます。



- 4 シートの後ろ側から3番で入れ込んだ生地を引き出します。



- 2 シートの前側からシートカバーをかぶせていきます。前側の両角をしっかりと入れ込んで下さい。

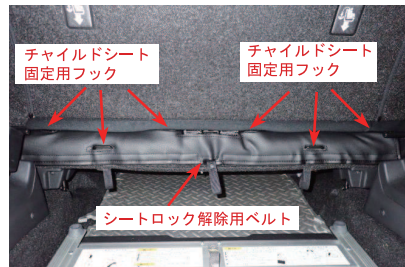
角をシートのラインに合わせる



- 5 シートカバーの加工穴にシートベルトバックルを通します。バックルは背もたれカバーを装着した後に元に戻すので図のような状態しておきます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6 シートロック解除用ベルトと、チャイルドシート固定用フックの位置にシートカバーの加工穴を合わせて、マジックテープをシート本体に貼り付けます。



- 7 座面前側のプラスチックパーツを取り出します。プラスチックパーツのフチに生地をしっかりと入れ込み、生地伸びを利用して取り出します。



- 8 プラスチックパーツを全て取り出すと図のようになります。



- 9 カバー前側と側面のマジックテープをシート本体裏側へ貼り付けて2列目座面の完成です。

Step 6

…> 2列目背もたれの装着方法



- 1 2列目背もたれのカバーをかぶせませす。背もたれの片側にカバーを引っ掛けるようにかぶせて反対側を入れ込みます。左右から少しずつカバーを下に入れ込み、両方の肩部分のラインを合わせていきます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込み、生地の伸びを利用して台座を取り出します。

※革を使用したカバーでは、革は伸びないため加工穴が裂けてくる場合があります。生地が裂けてきても慎重に作業を行っていただければ台座の幅以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。



- 4 3番で入れ込んだ生地をシート背面側から引き出し、マジックテープで固定します。



- 5 シートベルトのバックルを引き出してシートカバーに付いているゴムに固定します。2列目背もたれの完成です。

Step 7

…→ ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト



- 1 カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 2 カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、マジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 5 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、マジックテープを固定します。

2列目ヘッドレスト



- 1 ヘッドレストの先端にカバーを引っ掛けるようにして、カバーをヘッドレスト全体にかぶせていきます。



- 4 1列目と同様にブラフックを固定します。ブラフックの固定方法は27ページ5番を参考にしてください。ヘッドレスト裏側は図のようになります。



- 2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 5 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

完成図



1 列目完成図



1 列目背もたれ裏側



2 列目完成図



2 列目折りたたみ時



全席完成図



2 列目収納時



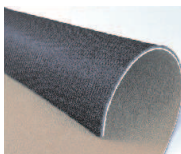
After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラスエード

● **ホコリや毛羽などの付着汚れ**

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● **全体の汚れが気になる場合**

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠ **ご注意**

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816